

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2022年 11月 28日

和泉市長 様

団体名 特定非営利活動法人
音楽サポートネット音結

代表者名 西川照美

所在地 和泉市緑ヶ丘2-14-8

電話番号 0725-53-3392

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	おとつな ～音・アートでつながろう～
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	152,500 円 (うち、対象経費 152,500 円)
支援金 交付申請額	100,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

団体概要調書

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン オンガクサポートネット オトユイ		
団体名	特定非営利活動法人音楽サポートネット音結		
団体の目的	現代社会に生きる人々との音楽活動を通して、個々人の生活の質を高め、心豊かな暮らしをすると共に心身の機能向上や社会参加の支援・促進を目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1155 和泉市緑ヶ丘 2-14-8		
	【専用事務所 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	0725 (53) 3392	F A X 0725 (53) 3392
フリガナ	ニシカワテルミ		
代表者氏名	西川照美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電 話
			F A X 0725 (53) 3392
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成21年 8月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	<input checked="" type="checkbox"/> (年 12 回発行) ・ 無	会員数	15 人
メールアドレス			
ホームページ	http://ongaku2013.wakwak.info/		
主な事業内容	障がい児通所支援事業 コンサート事業 音楽療法事業（子育て支援、高齢者認知症予防）		
主な活動の実績	平成22年～障がい児者事業所、高齢者施設等にて出張音楽療法実施 平成26年より「夢コンサート」を開催（年1回計6回開催） 平成29年4月障がい児通所支援事業所開所 令和4年8月「おとつな」コンサート開催		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

様式第3号（第7条・第15条関係）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	おとつな ～参加型コンサート～ 音・アートでつながろう～
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>子どもを取り巻く環境は決して良いとは言えず、自分に自信が持てず将来像に不安を持つ子どもが多く、学校になじめず不登校になる子どもが増えている現状がある。 日本の将来を担う子ども達が、自己有能感を持ち、自分の将来に希望がもてる社会づくりをしていくことが求められる。</p>	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>子どもが、自分らしさを表現する喜び楽しさを持てるような体験活動や仲間と一緒に演奏したり、個人発表により称賛してもらう等の練習や本番での舞台演奏、交流という経験を通して、次も頑張ろうと思えるようなモチベーションを高めることが期待される。 障がいの有無、異年齢との交流活動は、みんな違ってみんな良いという感覚を持ち、自分を認め、他者をも認め合う優しい地域社会づくりとなることが期待される。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
<p>子ども自身が、音楽（リズム運動、歌、楽器あそび）と音楽発表（障がい児、一般公募）、アート体験（絵を描く）を通して、「みんな違ってみんな良い」精神に気づきをもたらし、自己肯定感を高める事業</p>	
③ 実施期間（日時）	令和5年8月6日（日）予定
④ 実施場所	和泉シティプラザ レセプションホール
⑤ 主な対象者	子ども、サポートする大人、地域住民、障がい者他
⑥ 参加予定者数	100名
⑦ 告知方法	SNS、チラシ、広報

5 事業スケジュール	
	4～5月 チラシ作成、出演・出店者の公募、サポーターの募集 7月 学生・一般ボランティア、サポーターと打合わせ 出演者や関係者との打合せ 8月 リハーサル、本番
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	日本社会の次の担い手である子ども達が幸せだと感じ自己有能感を持つ社会づくりをしていくことは将来の日本のために有用である。子ども達が生き生き輝ける活動は公益性がある。
② 継続性	音楽とアートは人間が生きる上で必要であり普遍的なものである。子ども達が創造豊かに表現できる場づくりは年1回「おとつな」事業として開催し、財源は、舞台演奏者、賛同者を増やし寄付を集めて継続していく。
③ 実行性	学生・一般市民ボランティア、障がい児団体等の関係機関に呼び掛けて実行委員を募る。アートの部では絵手紙体験ブースと、「音絵」(音楽を聴いてフィーリングで自由に絵を描く活動)を参加者全員で描く。音楽の部は当法人の通所支援事業に通う子どもの発表、学生演奏ほか、一般の演奏者を募り(子どもから18歳程度)ます。
④ 協働性	障がい児(者)、地域の子ども、保護者、関係団体、個人、学校、NPO 団体、若者(学生)に呼びかけ、賛同者を増やして、地域の若者と一緒に運営していく。
⑤ 公開性	当法人のHPに掲載、SNSによる呼びかけ。チラシによる公募、和泉市内小学校全児童への配布、公共施設へも配架する。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	子ども達の創造性と表現力を武器にした参加型の音楽とアートイベントはワクワク感があり、子どもを中心とした参加型のコラボレーションイベントは先駆性があり興味関心のある方が多いと思われる。多くの方にイベントの趣旨を理解していただき、企業等からの協賛を募り、集客を増やしていくことをめざしながら展開していく。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： おとつな ～子ども達のための、音・アートで繋がろう～

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	100,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	20,000	入場料200円×100名
	5,000	バードコール作成費500円×10名
	10,000	舞台演奏者500円×20名
	10,000	企業や団体からの協賛金
自主財源	7,500	団体会計
合計	152,500	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
賃借料	54,600	和泉シティプラザレセプションホール am15,000円（準備、リハーサル） pm20,000円（本番） 付属設備利用料（ピアノ6,000円、音響セット8,000円、プロジェクター4,000円、 机200円×8台＝1600円）
報償費	30,000	舞台指導1名、アート講師1名、司会者1名 各10,000円
食糧費	8,000	200円×40人（講師、裏方、ボランティア飲料）
交通費	9,000	スタッフ駐車料金、講師交通費
委託費	10,400	チラシ製作費（委託費）
印刷製本費	27,000	チラシ印刷（11,000枚）、コピー等
消耗品費	10,000	コピー用紙、消毒アルコール類（コロナ対策）
役務費	3,500	行事保険、指定ごみ袋
備品費（対象経費）		
備品費（対象外経費）		
合計	152,500	
対象経費	152,500	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されている5とおりに記載してください。
 ※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。
 この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。